

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 2 月 21 日

事業所名 オールケア山田東

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3		利用される児童に応じて、配置を工夫・整理してスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切である	6	0	職員増員を検討しています。	職員は入りは満たしていますが、時間帯によって法人内での人員融通をはかる時があります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	4	生活空間は、物の配置等工夫し生活しやすいようにしています。	車の乗降時に配慮が必要な場所があります。今後語検討し改善していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	3		室温、環境を整え、整理整頓を心掛け清掃し心地よい環境づくりをしています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	振り返りの浸透にはさらなる取り組みが必要と考えております。	PDCAサイクルの流れを意識しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		評価を活用することで、改善に向けて繋げてまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	公開している旨を職員に周知して参ります。	自己評価のHP公開は平成29年から始めております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1		第三者評価による外部評価は行っていませんが、法人内の部局で内部監査を実施し、業務に努めています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	研修案内を職員に周知し、参加してもらっています。	事業所内研修や、外部研修には積極的に参加しています。また職員の資質向上を行う為、法人内部に人材センターを設置し、各種研修を実施しています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1		アセスメントは順次行っております。支援計画にニーズの分析をこれまで以上に盛り込んでまいります。
	11 子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		手順書を作成し、朝終礼及び会議で活用しております。手順書の見直しも随時進めてまいります。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		6ヶ月をめぐりに行っております。職員にも周知し総合的な支援を行って参ります。今後も綿密な相談に対応してまいります。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている				
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	会議等で検討し行っております。	月ごとに活動プログラムの担当者を設定し立案しております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	月ごとに変化をつけるように心がけております。	季節や月ごとに変化をつけ、テーマを決めて行っております。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	1	利用される方の時間帯等スケジュールを確認しながら行っております。	個々の状況に合わせて日々の中で組み合わせを行っております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	7	1		支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している
	18	7	0	申し送りノートを活用しています。	支援終了後には、必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しております。
	19	7	0		日々の記録を参考にして、次への課題へとつなげています。
	20	3	2		6ヶ月をめぐりに訪問等を行っております。今後はより綿密なモニタリングを行う予定で取組みます。
関係機関や保護者との連携	21	3	0		児童発達管理責任者が主に参加しています。必要に応じて、看護師も加わることがあります。
	22	1	5		保健所の保健師、もしくは相談支援事業所等の連携は行っておりますが、今後も綿密に行って参ります。
	23	7	0		主治医指示書のやり取りはすでにしております。更なる医療だけでなく、他気管との密接な関係を取るべく取り組みを進めてまいります。
	24	7	0		主治医指示書のやり取りはすでにしております。更なる密接な関係を取るべく取り組みを進めてまいります。
	25	0	7		今後の課題として、行って参ります。
	26	0	7		移行支援として今後の課題と考えてより良い支援をはかってまいります。
	27	3	1		事業所連絡会等の研修に参加させて頂き、助言など頂いております。
	28	7	1		地域の公民館等での交流で地域の子供達の交流はありますが今後他機関との交流も考えております。
	29	7	1		保健所開催の会議や、地域連絡会等に参加させて頂いております。
	30	5	1		現状報告だけでなく、今後は発達状況、課題についても理解を深めてまいります。
	31	1	1		現在実施がなく、ペアトレーニングを今後行っていけるように研修など参加して参ります。
	32	7	0		運営規定等で変更がある場合、説明を行い、加えて書面配布しております。
	33	1	1		6ヶ月をめぐりに行っております。職員にも周知し総合的な支援を行って参ります。今後も綿密な相談に対応してまいります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	3		6ヶ月をめぐりに行っております。今後も綿密な相談に対応してまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	0		保護者会の開催はありませんが、参観等を通して保護者同士が顔合わせが出来る環境を作っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		相談、苦情等あった場合、個別に訪問にてお話を伺い、現場にフィードバックまで迅速に行っております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	事業所の様子、訓練士の予定等記載しています。	事業所での機関誌を毎月発効するほか、Facebook等でも発信しております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		個人情報の管理については定期的に職員に対して注意喚起を行っております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		声のトーン、物の位置、選択枠等を工夫しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	定着にはじっくり時間をかけてまいります。	公民館での交流等で、近隣の方々と触れ合う機会を確保しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0		安全管理委員会で各種マニュアルを策定しております。職員保護者にも周知を広げてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0		1ヶ月に1回避難訓練を行っております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0		アセスメント時に聞き取り、発作時の薬等使用する際には医師の指示書を貰っております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	アレルギーのある利用児に対して食器など別にしている。	保護者からの聞き取りで対応しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		ヒヤリハット事例を作成し、共有しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0		虐待に関する講習を定期的に行い次回は2019年1月に予定しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	連絡帳などに時間なおd記載するようにしています。(車椅子から降りた時間等)	やむを得ず身体拘束する場合には、保護者等に事前に説明し、了解を得たのち、個別支援計画にきさいしてまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 オールケア山田東

保護者等数(児童数) 5 回収数 4 割合 80 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3		1		・動ける子もいるので、少し狭く感じます。	・利用児様に応じて、スペースを確保し環境を整えてまいります。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	4					・職員配置は満たしているが時間帯によって増員も行っていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4					・送迎車両の乗降する際、配慮が必要な場所があります。今後の課題でございます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4					・朝夕の掃除、消毒を行い清潔で過ごせるように整えより一層、配慮し行ってまいります。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4					・定期的にアセスメントを取りながら相談させて頂きながら、行ってまいります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている				4		・保護者様との面談を通して、支援の内容を確認し、行ってまいります。今後も家族支援、地域支援等を課題に行ってまいります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている		4				・会議等検討課題提起し目標設定を行って支援しております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4					・季節、月ごとに変化をつけ、テーマを決めて行ってまいります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4					・地域の公民館、未来館などに出かけて交流する機会を設けております。
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4					・運営規定等で変更がある場合、説明を行い加えて書面配布を行っております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた		4				・訪問、面談等、モニタリングを行っております。課題として細かく具体的に示してまいります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている				4		・保護者様からの相談を受け、検討課題を探り行ってまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					・日々の様子などをふまえご相談、課題検討し支援しております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている						・保護者様とのモニタリングを定期的に行って相談、提案を行っております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			1	3		・父母の会などの開催はしておりませんが、参観等で保護者同士がお会いできる日を今後設定してまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	1	3				・相談、苦情等の申し入れがあった場合に訪問等を行い、迅速に対応しております。
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4					・日々の記録連絡帳、及び相談に対応させて頂いております。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3				・『オールケア山田東っ子集まれ』楽しく読ませて頂いています。	・事業所で機関誌を毎月発行するほか、Facebook等でも発信しております。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	4					・個人情報の管理については定期的に職員に対して注意喚起を行っております。
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4					・安全管理委員会をで各種マニュアルを策定しております。職員、保護者様にも周知を広げてまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2	2				・1ヶ月に1回の訓練を行っております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	4				・毎週楽しいそうです。	・笑顔でご自宅に戻って頂ける様安心安全な支援を行ってまいります。
	23	事業所の支援に満足している	4					・保護者様とのモニタリングを踏まえ、より一層の支援を行う為に職員の質の向上を行ってまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 2 月 21 日

事業所名 オールケア山田東

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	利用される児童によって、物の位置、整理スペースを確保している。	利用される児童に応じて、配置を工夫・整理してスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	増員を検討しています。	職員配置は満たして入りますが、時間帯によっては法人内で人員融通をはかる時があります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4		車の乗降時に配慮が必要な場所があります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	振り返りの浸透にはさらなる取り組みが必要と考えています。	PDCAサイクルの流れを意識しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		評価を活用することで、改善に向けて繋げてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	公開している旨を職員に周知して参ります。	自己評価のHP公開は平成29年から初めております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1		第三者による外部評価は行っていませんが、法人内の部局で内部監査を実施し、業務に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	研修案内を職員に周知して、参加してもらっています。	事業所内研修や外部研修には積極的に参加しています。また職員の資質向上を行う為、法人内部に人材センターを設置し、各種の職員研修を実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		アセスメントは順次行っております。支援計画にニーズの分析をこれまで以上に盛り込んでまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		手順書を作成し、朝終礼及び会議で活用しております。手順書の見直しも随時進めてまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	会議等で検討し行っております。	月ごとに活動のプログラムの担当者を設定し立案しております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	月ごとに変化をつけるよう心掛けております。	季節や月ごとに変化をつけ、テーマを決めて行っております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		休日や長期休暇等利用時間が長い時は、イベントや、外出活動等、日頃できない事をして変化をつけています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0		個々の特性を把握して、支援を行っております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	7	0	申し送りノート等を活用しております。	支援終了後には、必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		日々の記録を参考にして、次の課題へとつなげています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2		6ヶ月をめぐりに訪問等を行っております。今後はより綿密なモニタリングを行ってまいります。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1	0		全体できちんと意識する事に今後取り組んでまいります。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	児童発達管理責任者が主に参加しています。必要に応じて看護師も加わることがあります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	学校との直接やり取りは有りませんが、保護者を通してしており、連絡方法も聞き取っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0	更なる密接な関係を取るべく取り組みを進めてまいります。 主治医指示書のやり取りはすでにしております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	放課後等サービスの利用児が過去に利用されていた事業所とは、今後の課題となっております。 未就学児の通所されている児童発達新事業所とは情報共有しております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	過去に2名卒業生があり、法人内の生活介護事業所に情報提供、連携しております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	事業所連絡会等の機会を通して、研修を受けたり、助言を頂いたりすることはあります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	1	健全児のいる環境を共有しております。地域の公民館・未来館に行き交流しております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	事業所連絡会並びに吹田市の地域協議会に参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	現状報告だけでなく、今後は発達状況、課題についても理解を深めてまいります。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1	現在実施がなく、ペアレント・トレーニングを今後行っていけるように研修など参加してまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	運営規定等で変更がある場合、説明を行い、加えて書面配布しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	相談して下さる方も少しずつ増えています。今後提案等させて頂きま、相談しやすい環境づくりを進めてまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	0	保護者会の開催はありませんが、支援学校のPTA行事への参加や、授業参観等を通して、保護者同士の顔合わせが出来ました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	苦情などがあった場合、個別に訪問にてお話を伺い、現場にフィードバックまで迅速に行っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	事業所の様子や、訓練士予定等記載しています。 事業所で機関誌を毎月発行するほか、Facebook等でも発信しております。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	個人情報の管理については、定期的に職員に対して注意喚起を行っております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	声のトーン、物の位置、選択等を工夫しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	定着にはじっくり時間をかけてまいります。 公民館での交流等で、近隣の方と触れ合う機会を確保しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0		安全管理委員会で、各種のマニュアルをさう呈しております。職員や保護者にも周知を広げてマ知ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0		1ヶ月に1回、避難訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0		虐待に関しての演習を定期的に行い次回は2019年1月に予定しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	連絡帳などに時間など記載するようにしています。(車椅子から降りた時間など)	やむを得ず身体拘束する場合には、保護者等に事前に十分説明し、了解を得たのち、個別支援計画に記載して参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	アレルギーのある利用児に対して食器なども別にしてはいる。	保護者からの聞き取りで対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		ヒヤリハット事例を作成し、共有しております。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31 年 2 月 21 日

事業所名オールケア山田東

保護者等数(児童数) 19

回収数 11

割合 57

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1			・あともう少し広かったらな～と思いますが、ハード面はむずかしいですね。	・物の位置等を整理してスペースを確保しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11					・職員配置は満たしていますが、時間帯によっては法人内で人員融通をはかる時があります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2				・車の乗降時には配慮が必要な場所があり、今後検討して参ります。
適切な支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10	1				・ご相談を受けながら、どのように支援を行っていくか職員間で検討して作成しております。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	2				・季節、月ごとに変化を持たせて検討し行っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	2	1	1	わかりません。	・地域公民館との交流で、地域に児童と交流できる機会を作っております。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					・変更がある場合は書面、直接ご説明させて頂いております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11					・記録をふまえ、保護者との連絡を取り合い行っております。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2				・訪問、面談行って、ご相談し提案をしております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	4	2		・学校ではないので、父母の会や保護者会が必要だとあまり考えていませんが、参加行事で色々あり、保護者が会う機会を作っておくと思っています。 ・学校の夏祭りや、運動会に来てもらっている。	・父母の会などは開催しておりませんが、参観等を設け、保護者同士が会える機会を作っております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11					・訪問させて頂き、聞き取り確認を行い検討を踏まえ対応させて頂いております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11					・日々の記録、送迎時等で聞き取りを行い医師の疎通を行っています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11					・毎月機関誌、不定期にFacebook等に活動内容などを発信させて頂いております。
	14 個人情報に十分注意しているか	11					・個人情報の管理については定期的に職員に対して注意喚起を行っております。
非常時等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	1				・安全管理委員会で各種マニュアルを策定しております。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	3				・1ヶ月に2回避難訓練を行っております。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11					・笑顔でご自宅に戻って頂ける様に安心安全を心掛け支援しております
	18 事業所の支援に満足しているか	11					・保護者様とのモニタリングを行い、より一層支援出来るよう職員の資質向上を行って参ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

